

心の語録⑦

「自信の味です」

第275号 量に満足、味に満足

食のスーパー 三好弥

「当たり前前のプレーを当たり前前にこなせる選手に」

第276号 コツ通りから甲子園出場

伊藤優輔さん

「記憶がないということは明日に自信がもてないんです。自分の立っている現在が揺らいでいて、未来も揺らいでいるから、ちよつとしたことで不安になったりイライラする。」

第278号 認知症の人と暮らすために知っておきたいこと

「日柄の良い日を選んで掘ります」

第281号 手彫り印鑑を提供

文字と共生 日展作家 弘文堂印店

「誰かにちよつと手伝ってもらえたら助かる」

第282号 あつて良かった!!

ここにこそサポート

「字をつくる」

第284号 文字を描く 江戸手描提灯

大嶋屋提灯店

「一人前になるには10年かかります」

第287号 毎日、肌に触れるものだから

ら 安心の手仕事、藤原豊店

「最期は看取ってね」

第290号 看護師つれづれ日記② 「最初で最後のありがとう」

「来てくれて安心、登録して助かる」

第291号 笑顔と安心のひと声運動

南千住高齢者みまもりステーション

「一度食べると、また食べたくなる味」

第293号 東京名物 人形焼きとゼイタク煎餅 重盛商店

「最後まで会いに来る人を待っていた」

第294号 野良猫「きく」の遺したもの

「創建当初の城の復元を」

第296号 江戸城を見に行きませんか

城模型作家 長谷川進さん

「何よりも野球が好き」

第297号 荒川区夏の大会で優勝

南千住に優勝旗 青雲クラブ

「こだわりはなく、日々精進、より美味しいものを作る」

第299号 美味しさと安さの追求

生そば 美加志屋

「荒波ときに寄するとも 不屈の心ゆるぎなし」

第300号 釜石市唐丹とうに小学校の子ども達

に安全なグラウンドをチャリティコンサート開催

「高齢者でも脳は鍛えられます」

第302号 脳の元気がカラダの元気 荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター

「善意の輪をつなげたい」

第305号 米一合がおにぎりに繋がる命

繋げるフードバンク

「中学生・高校生の孤立した子どもの居場所です。」

第306号 添え木となつて繋ぐ。子ども

村・中高生ホッとステーション

「思いやりの心を持って」

第308号 心がホッとする

ほつとライン ふれあい電話

皆様の昨年一年の心の語録は何でしたか。

「すまいるたうん」は平成18年6月13日に創刊して8年過ぎました。

東京新聞南千住専売所の中村所長と奥様、榎本哲也さん・杉山六郎さん・岡本亜矢さん・吉田喜一先生・佐藤祐一郎さん・岡田さん・警察署・消防署の方々にこの場を借りまして御礼申し上げます。

南千住図書館には、「すまいるたうん」の過去の記事がございます。また、NPO法人粋と縁のホームページにも掲載されております。

今年も新たな出会いを皆様にお届けしたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。 鬼塚佳代子